

令和6年度いきいきふるさと“夢”支援金事業 評価書

事業名	史跡案内板の整備（富竹陣屋の地域へのどんな足跡を残したか調査）
-----	---------------------------------

■支所長評価

	評価項目	評価の内容
事業効果	目的の達成	上州街道沿いに置かれた富竹の「陣屋」を、地域住民に地域の歴史を再認識してもらうため案内板を2種類2カ所設置し、地域住民に周知することができた。
	地域等への貢献	案内板を通じて地区の歴史を可視化し、江戸時代の文化に思いを馳せ、地元にも愛着が生まれるとともに「富竹歴史探訪報告会」を開催した。
	事業の継続	今後も案内板を通して、江戸時代に富竹地区が果たしてきた役割や事実を広く地域住民に周知し、「ふるさと史跡めぐり」等に活用するなど、更なる郷土愛を育んでもらうための一助になることを期待する。
	費用対効果	初年度においては、2枚の説明看板を設置し、ふるさとの歴史、文化を掘り起こすことができた。上記の事業継続の欄に記載のとおり、今後の活用を期待する。

■選考委員協議

・看板を設置し、地域住民に歴史について認識してもらうよい機会となったと思われる。 ・地元住民も知らなかった郷土の歴史を発掘し、周知できたことは、大変有意義である。 ・富竹陣屋について、一昨年の歴史講座で学芸員に断られた経緯があり、歴史的資料が非常に少ない中での住民活動であるが故に、今後の「ふるさと」の歴史や文化に埋もれている地域の特色の再発見や、地域愛護の一助に期待する。 ・「富竹歴史探訪報告会」も開催され、地域住民の皆様には地区の歴史の再認識が図られ、よかったと思う。案内板においては、年月の管理等をお願いしたい。 ・案内板の設置位置が車の交通の激しい場所であり、また、人目にも付きにくいこともあり、案内板の効果が感じられないのが残念である。
--

■最終評価

概ね支所長評価のとおり
